



日	曜日	行事	授業時数					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	木	読み聞かせ 視写・暗記	5	5	6	6	6	6
2	金	かしの木学習⑧	5	5	5	6	6	6
3	土							
4	日							
5	月	全校朝会	5	5	6	6	6	6
6	火	SC	5	6	6	6	6	6
7	水		4	4	4	4	4	4
8	木	安全指導 視写・暗記	5	5	6	6	6	6
9	金	かしの木学習⑨	5	5	5	6	6	6
10	土							
11	日	建国記念の日						
12	月	振替休日						
13	火	避難訓練 SC	5	6	6	6	6	6
14	水	社会科見学(6年)	4	4	4	4	4	4
15	木	情報モラル指導	5	5	6	6	6	6
16	金	集会 理科出前授業(4年) かしの木学習⑩	5	5	5	6	6	6
17	土	公開授業	3	3	3	3	3	3
18	日							
19	月	全校朝会 委員会(5.6年のみ5時間授業)	4	4	4	4	4	4
20	火	研究授業(4-1のみ5時間授業) SC	4	4	4	4	4	4
21	水		4	4	4	4	4	4
22	木	4時間授業 Bモジュールなし 12:50頃下校(教員研修のため)	4	4	4	4	4	4
23	金	天皇誕生日						
24	土							
25	日							
26	月	全校朝会	5	5	6	6	6	6
27	火	SC	5	6	6	6	6	6
28	水		4	4	4	4	4	4
29	木	安全指導 視写・暗記 阿佐中サミット(5.6年各教室)	5	5	6	6	6	6

SCはスクールカウンセラー来校日です。

2月生活目標

「元気よくすごそう」

安全目標「休み時間の遊びの約束を守って遊ぼう」

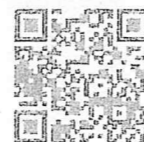
保健目標「元気に体を動かそう」

給食目標「みんなで協力しよう」

学校支援本部通信「かしの木 Lab 通信」

学校支援本部の皆様にご協力を
いただき、出前授業を行って
います。

子供たちの様子をご覧ください。



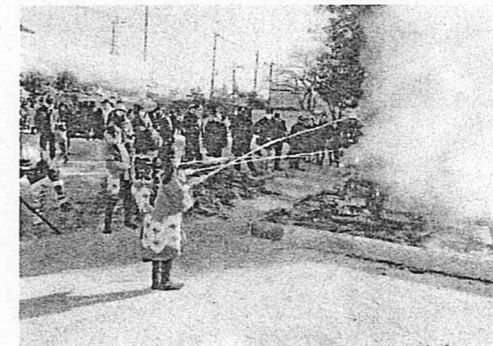
榎の木

健康で心ゆたかな子 深く考え学び続ける子 進んではたらく子
2月号 杉並区立杉並第六小学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sugi6shou/>



「令和5年度 教育調査の結果のご報告」

副校長 三上 隆



3学期が始まり、1か月が過ぎました。1月8日(月)には、馬橋どんどやきが開催されました。近隣町会の皆様やPTA行事委員の方々などたくさんの方々にご協力いただき、小正月の行事を子どもたちが経験させていただきました。どんど焼きの火にあたり健康でいられるという言い伝えもあり、1年間の健康をお願いしたところです。今年は、4年ぶりにお汁粉の振る舞いも行われ、多くの子どもたち、保護者・地域の皆様にご参加いただきました。関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、昨年12月に保護者の皆様にご協力いただいた教育調査(学校評価)について報告いたします。今年度は、214家庭からご協力をいただきました(回収率76.1%)。大変多くの方々のご意見をお寄せくださいました。ありがとうございました。

保護者の皆様による評価では、設問1「子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている。」、設問2「子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている。」、設問6「子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している。」設問14「子どもは、学校生活を楽しんでいる。」で70%以上の肯定率をいただきました。日々の授業での学びや、児童1人1台のタブレットパソコンを活用したデジタル教科書を使った授業・毎日の授業や家庭学習での取り組みに評価をいただいたことは、今後の活動を進めて行く上で励みとなります。特に、「学校生活を楽しんでいる」では80%以上の肯定率でした。子どもたちが、毎日の学校生活を安定して送ることができていることは、保護者・地域の皆様の学校に対するご理解と温かなご支援があつてのことだと思います。これからも子どもたちにとって充実した学校生活を送ることができるよう、教職員が一丸となって努力してまいります。

一方、設問3・設問5・設問7・設問8・設問12・設問13・設問15では、肯定率が50%を下回り、「どちらでもない」「わからない」と回答された方が50%以上という結果となりました。特に、設問3「子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる。」、設問13「学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている。」では、肯定率が40%以下でした。

今年度も、例年実施しているプレスクール(6年生が阿佐ヶ谷中学校で、杉七小の6年生と一緒に、中学校の先生の授業を受けたり、部活動体験をしたりする活動)や、5・6年生の児童とスクールカウンセラーによる面談、12月の人権週間には担任との面談を実施してまいりましたが、保護者の皆様への十分な情報提供がなされていないことがわかります。来年度も、学校便り等のデジタル配信もさらに工夫して行うなど、学校内での取り組みが分かりやすくなるように、多様な情報提供に一層の充実に努めてまいります。いじめ・不登校などに対する未然防止、早期発見、解決に向けての取り組みについては、年3回の「ふれあい月間」の児童アンケートや、人権週間における児童と担任の面談、Q-U(よりよい学校生活と友達づくりのアンケート)を年間3回実施し、児童理解に努めいじめや不登校の早期発見、早期対応に努めてまいります。来年度に向けて、今年度のこれらの取り組みを振り返り、より効果的に子どもたちに寄り添った指導ができるように努めて参ります。

保護者の皆様からのご意見を真摯に受け止め、より良い学校になるように教職員一同努力してまいります。これからも、本校の教育活動にご理解・ご協力をお願いいたします。

各学年からのお願い・お知らせ



保護者会

3月1日(金) 1・2年
3月4日(月) 3・4年
3月5日(火) 5・6年

各学級にて午後2時45分より行います。
ご多用中かと存じますが、ご予約おきください。

【1年】

・生活科おもちゃ作りについて

身近な材料を用いて、おもちゃ作りを行います。紙皿4枚と紙コップ4個を2月8日(木)にご用意していただくようお願いいたします。

・タブレットについて

タブレットの充電が不十分な児童が見られます。ご家庭で充電するときは、コードがしっかり入っているかご確認をお願いします。

・ノート・のりの補充のお願い

ノートやのりは残りが少なくなる前にお家の方に伝えるように、お子さんに話しています。使い切る少し前に用意できるよう、時々見ていただいたり声をかけていただいたりすると助かります。よろしくようお願いいたします。今使っているものと同じ規格のノートのご用意をお願いします。

【2年】

・2月も、生活科でおもちゃ作りと「自分はっけん」の学習を並行して進めていきます。1月号でお願いしていた工作の材料、思い出の写真や物などを、お声がけした時に持ってこられるようにご準備をお願いいたします。

・生活科「自分はっけん」の学習で、最後に保護者の皆様からお子様に向けて手紙を贈りたいと考えております。今後、児童が、身近な人たちから大切に育てられてきたことを喜び、自分を大切に思い、希望をもって進級に臨めるように、励ましの言葉をお願いします。詳しい内容や時期につきましては、後日お便りでお知らせします。ご多用の中恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。

【3年】

社会科の学習で、3月2日(土)に「炭体験」の出前授業を予定しています。郷土博物館の学芸員の方たちに来ていただいて、【七輪で火をおこし、炭に火をうつす】方法を教えていただきます。火を使いますので、七輪のところにおいて児童の安全を見守っていただくお手伝いの方が各クラス5人以上必要です。2時間目は3年1組、3時間目は3年2組が行います。お手伝いいただける方は、先日お配りしました『社会科「炭体験」お手伝い募集のお知らせ』のお手紙をご覧ください。担任までお知らせください。

〈お願い〉

「タブレットの充電をしてきたけれどスイッチがつかない。」と言って困っている児童がいます。ご家庭で充電するときは、コードがしっかり入っているかご確認をお願いします。

【4年】

・杉並区小中学校環境サミット

1月20日(土)、「杉並区小中学校環境サミット」に参加しました。総合的な学習の時間と理科の授業で学習したことを基にして、「和田堀公園の環境と私たちにできること」について発表しました。発表の様子は2月15日から、杉並区広報番組「すぎなみスタイル」(J:COM)、YouTube「杉並区公式チャンネル」で放送される予定です。ぜひ、ご覧ください。

【5年】

・しあわせプロジェクトについて

2月17日(土)の1、2校時にプラモデル授業「ガンプラアカデミア」を行います。保護者の方からも子供たちにアドバイス等していただきたいと思います。3校時はゲストティーチャーをお招きして、「杉六小みんなの幸せ」とは】をテーマに授業を行います。グループになり、どんな杉六小にしていきたいのか、杉六小みんなの幸せのために自分(たち)ができることなどについて、考えを伝え合い、深めていければと考えています。保護者の皆様にもグループに入って話し合いに参加していただいたり、子供たちの話し合いの様子を見ていただいたりする中で、「幸せ」について改めて考える機会としていきたいと思っています。どうぞご参加ください。よろしくようお願いいたします。

【6年】

・社会科見学について

2月14日(水)小学校生活最後の校外学習「社会科見学」があります。7時45分登校、15時10分ごろ下校となります。交通状況により、下校時刻は前後すると思いますのでご承知おきください。国会議事堂見学と参議院の特別プログラム体験、昭和館の見学を行います。また、小学校生活最後のお弁当となります。ご準備のほどよろしくお願いいたします。詳細は後日しおりでお知らせします。

・卒業文集について

卒業文集の作成に入ります。下書きができた段階で随時、ご家庭に持ち帰ります。内容を確認の上、押印またはサインをしていただき、再度学校へ持たせてください。ご多用の折、恐縮ですが、ご協力をお願いします。

・卒業式の服装について

そろそろ卒業式の服装のご準備にかかれたご家庭もあるかと思います。卒業式の服装については、証書授与のときに壇上に上がることや、寒さなどにご配慮いただき、式にふさわしい着慣れた服装でご準備いただきますようお願いいたします。なお、中学校の制服は中学校に通われる際にご着用いただき、卒業式ではご遠慮ください。

新緊急メール配信システムの利用開始のお知らせ

すでにお知らせしているように、令和6年4月1日からは、新緊急メール配信システム「tetoru(テトル)」(以下「tetoru」という)の活用をスタートいたします。すでにご登録されている方も多いかと思います。

再度、登録できる方をお知らせいたします。杉並区立学校メール配信システム運用基準に基づき、「tetoru(テトル)」に登録できる方は、保護者のみとさせていただきます。また、配信された内容や発行物は全て学校の著作権となるため、他者へ転載等を行うことはお控えください。どうぞよろしくお願い申し上げます。

※2月1日(木)10:00にテストメールを配信いたしました。登録したにもかかわらず、未配信になっている方は、担任までお知らせください。

2月の学習予定

【1年】

国語	どうぶつの赤ちゃん これは、なんでしょう ずうっと、ずっと、大すきだよ
算数	なんじなんぷん どんなしきになるかな
生活	ふゆとなかよし たのしかったよ1年かん 学校はっけん!
音楽	みんなであわせてたのしもう
図画工作	ひかりのくにのなかまたち ペーパークッション かみはんが
体育	縄跳び ポールけりゲーム 体づくり運動
道徳	誠実・明朗 自然愛・植物愛護 礼儀

【2年】

国語	見たこと、かんじたこと 楽しかったよ、二年生 ことばを楽しもう カンジーはかせの大はつめい スーホの白い馬
算数	1000より大きい数 数のめいろ 図をつかって考えよう 1を分けて
生活	自分のはっけん つくる楽しさはっけん
音楽	いろいろながっきの音をさがそう
図画工作	えのぐでカメレオン かみはんが
体育	体づくり運動(移動・用具操作) 表現遊び
道徳	正直・誠実 勤労・公共の精神 規則の尊重 感動・畏敬の念

【3年】

国語	伝えることばで表そう ありの行列 これがわたしのお気に入り
社会	杉並区のうつりかわり
算数	2けたの数のかけ算 □を使った式と図
理科	じしゃくのふしぎ
音楽	いろいろな音のひびきをかんじとろう
図画工作	でこぼこのけしき
体育	シュートボール 高とび アルティメット
道徳	相互理解 寛容感動 畏敬の念 生命の尊さ伝統と文化の尊重
外国語活動	Who are you? きみはだれ?
総合	わたしたちの学校じまん

【4年】

国語	ウナギのなぞを追って もしものときにそなえよう 調べて話そう生活隊
社会	豊かな自然環境を守り生かす小笠原 江戸の文化を伝える浅草
算数	立体 分数の大きさとたし算、ひき算
理科	ものにあたまり方 すがたをかえる水 季節と生物
音楽	曲の気分を感じ取ろう
図画工作	ひかりと紙の世界
体育	跳び箱運動 高跳び ハードル走
道徳	国際理解、国際親善 生命の尊さ、希望と勇気 努力と強い意志 親切、思いやり
外国語活動	Unit8 This is my favorite place. Unit9 This is my day.
総合	共に生きる(パラリンピックを通して)

【5年】

国語	複合語 この本おすすめします 提案しよう、言葉とわたしたち 大造じいさんとガン
社会	情報を生かすわたしたち 自然災害を防ぐ わたしたちの生活と森林
算数	正多角形と円 角柱と円柱
理科	もののとけ方 人のたんじょう
音楽	思いを表現に生かそう
図画工作	シーサー 伝えたい思い
家庭	食べて元気に
体育	体の動きを高める運動 ゴール型運動 跳び箱運動
外国語	Unit8 Who is your hero?
道徳	生命の尊さ 国際理解・国際親善 友情・信頼 感動・畏敬の念
総合	SDGsについて知らべよう

【6年】

国語	思い出を言葉に 今、私は、ぼくは 海の命
社会	新しい日本、平和な日本へ 日本とつながりの深い国々
算数	算数を使って考えよう 6年のまとめ 算数のまとめ 開け!算数ワールド
理科	電気の性質とその利用 生物と地球環境
音楽	日本や世界の音楽に親しもう
図画工作	焼き物
家庭	共に生きる地域での生活
体育	跳び箱 ゴール型 体力を高める運動
外国語	My Future, My Dream
道徳	生命の尊さ 希望と勇気 努力と強い意志 感動、畏敬の念
総合	共に生きる(未来を見つめて 卒業プロジェクト)

No	観点	保護者に対する質問内容	とても思う やや思う	どちらとも いえない	あまり思わない まったく思わない	回答不能
1	成長の実感	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくなるためにできていることが増えている。	72.0%	21.5%	5.6%	0.9%
2	多様性の理解	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている。	71.5%	16.4%	8.8%	3.3%
3	地域と共にある学校	子どもは、学校で障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる。	37.9%	37.9%	18.6%	5.6%
4		学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。	61.2%	26.7%	8.4%	3.7%
5		連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている。	45.8%	27.6%	17.3%	9.3%
6	ICTの選択的活用	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している。	73.4%	14.9%	9.8%	1.9%
7	学びの環境	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	47.2%	36.5%	10.7%	5.6%
8	学校安全	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある。	40.7%	37.8%	12.6%	8.9%
9	学習評価	学校は、子どもたちの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している。	68.7%	24.3%	6.5%	0.5%
10	ICTシステム	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている。	58.9%	26.2%	14.0%	0.9%
11	社会的つながりの場	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている。	51.9%	34.1%	10.7%	3.3%
12	教育相談	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	42.1%	35.1%	13.5%	9.3%
13	交流及び共同学習	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をついている。	24.3%	44.4%	13.5%	17.8%
14	通学の喜び	子どもは、学校生活を楽しんでいる。	80.8%	12.7%	5.6%	0.9%
15	幼保小連携	学校は、児童と幼児の交流、保護者への理解啓発等、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を意識した取組を積極的にを行っている。	46.5%	36.5%	8.5%	8.5%

②学校運営協議会委員による評価

No	観点	学校運営協議会委員に対する質問内容	とても思う やや思う	どちらとも いえない	あまり思わない まったく思わない	回答不能
1	本物の学び	子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問いや課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探究したりする力が育っている。	71.4%	0%	0%	28.6%
2	民主的な学校づくり	子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている。	57.1%	14.3%	0%	28.6%
3	子どもの学びを支える教員	教員は、全ての子どもが共に学ぶ中で自分らしく成長できるよう、それぞれの経験や専門性を生かし合っている。	71.4%	14.3%	0%	14.3%
4	地域と共にある学校	学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。	85.7%	0%	0%	14.3%
5	ICTの選択的活用	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちにより、その時々の学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている。	71.4%	14.3%	0%	14.3%
6	学びの環境	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	28.6%	42.8%	0%	28.6%
7	カリキュラムマネジメント	学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している。	100%	0%	0%	0%
8	チームとしての学校	学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員(学校関係者を含む)と話し合ったりしている。	71.4%	0%	0%	28.6%

③教員による評価

No	観点	教員に対する質問内容	とても思う やや思う	どちらとも いえない	あまり思わない まったく思わない	回答不能
1	本物の学び	授業では、普段の生活のことや社会での問題、話題になっことを材料に学べるようにしている。	66.7%	26.6%	0%	6.7%
2		授業では、「授業を進めるのは、先生ではなく、児童・生徒である」と児童・生徒が感じられるようにしている。	73.3%	20.0%	0%	6.7%
3	探究の学び	授業では、児童・生徒が、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学べるようにしている。	73.3%	20.0%	0%	6.7%
4		授業では、児童・生徒が、挑戦や失敗を繰り返しながら、問いや課題の解決に取り組みながら学べるようにしている。	60.0%	33.3%	0%	6.7%
5	個別の学び	授業では、児童・生徒が、学習を進める方法やペースを自分で決めながら学べるようにしている。	53.3%	33.3%	6.7%	6.7%
6		授業では、児童・生徒一人ひとりの学びに合わせて、「わからない」を解決するための指導・支援をしている。	60.0%	33.3%	0%	6.7%
7	協同の学び	授業の中で出た意見や考えを、児童・生徒が自分の学びに生かせるようにしている。	86.7%	0%	6.7%	6.7%
8		授業では、児童・生徒が、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学べるようにしている。	86.7%	6.7%	0%	6.7%
9	民主的な学校づくり	学級の全体に関わることは、児童・生徒が自分たちで、全員の考えや気持ちを確認しながら決められるようにしている。	93.3%	0%	0%	6.7%
10		学校生活で児童・生徒が疑問に思ったことは、全校で話し合ったり、みんなで合意したしながら変えられるようにしている。	60.0%	40.0%	0%	0%
11	地域と共にある学校	学校の教育目標や目指す児童・生徒像、特色ある教育活動や教育課程などについて、学校評議会や学校運営協議会、学校関係者評価委員会等で協議している。	73.3%	26.7%	0%	0%
12		児童・生徒が、自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している。	80.0%	20.0%	0%	0%
13	学びの機会	連携する小・中学校による小中一貫教育(各教科等において、義務教育9年間を見据えた一貫性のある学習指導計画の作成、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている。	80.0%	20.0%	0%	0%
14		教員である自分自身が身に付きたい資質・能力について、必要な学びが得られており、学び続けることができている。	73.3%	26.7%	0%	0%
15	働き方改革	子どもと向き合う時間が確保できている。	53.3%	13.4%	33.3%	0%
16		タイムマネジメントを意識して勤務できている。	46.7%	40.0%	13.3%	0%
17	働き方改革	勤務する学校は、働き方改革に意識的に取り組んでいる。	66.7%	33.3%	0%	0%
18		誇りややりがいをもって仕事を行うことができている。	80.0%	20.0%	0%	0%
19	ICTの選択的活用	ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることができている。	66.7%	33.3%	0%	0%
20		スクール・サポート・スタッフの活用が負担軽減につながっている。	100%	0%	0%	0%
21	学びの環境	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちが学びや生活の必要に応じ、選択して活用している。	86.7%	13.3%	0%	0%
22		学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫を行っている。	40.0%	53.3%	6.7%	0%
23	チームとしての学校	授業や行事、学校生活全般において、その内容や進め方を、児童・生徒が自らを学びの主体であると実感しながら、自分たちで考えたり教職員及び学校関係者と話し合ったりできているようにしている。	66.7%	33.3%	0%	0%
24	幼保小連携	幼保小連携の必要性について全職員の共通理解を図るなど、学校全体で幼保小連携の取組が積極的に進められている。	93.3%	6.7%	0%	0%